

シアターキノ24周年記念作品第1弾

「ハッピーアワー」3部構成 5時間17分・一挙特別上映！

◎4月10日(日)13:00～18:40(途中休憩2回あり)礼拝プラザ2・5(種小務5丁目)

本作を観る前は、誰もがその長さに躊躇しそうな気がする観た人ほとんどが全く退屈せず、自然と映画に引き込まれていたと語る。それは、この4人の女性たちに寄り添うような気持になれるからだ。この4人全員が、ロカルノ国際映画祭最優秀女優賞を受賞したこともうなづける。川本三郎さんのこの映画を観ている人間は、観客というより、彼女たちの隣人だと思っているがよい。実に新鮮な映画体験だった」との言葉は実に言い得ていると思うことでしょう。

「FAKE」6月18日(土)公開

6月9日(木)夜、先行上映決定！ 森達也監督来札！

森達也さんの15年ぶりの新作「FAKE」が完成、描かれるのはゴーストライター問題で話題になった作曲家・佐村河内守さん。森さんが常々語っていることは、物事を様々な視点から見ることが大切ということ。メディアバイランピングあった彼を、視点を変えて捉えようとして、実にスリリングだ。そして、衝撃のラスト12分が訪れる。一体誰を追い回しているのはあなたか？ 3月下旬から始まった試写でもく絶賛の声が出始める。

——ドキュメンタリーの枠を完全に超えていた。驚くべき結末だったが、よく考えてみると、それしかあり得なかった。素晴らしい。素晴らしい。(高橋源一郎さん)

——最高のドキュメンタリー作家・森達也さんの新作。テーマは「事件」後の佐村河内守。初写見写りたけど凄まじい傑作だった。皆見べし。(津田大佑さん)

森さん自身も語る。もう二度と映画を描くことはないかもしれないと内心は思っていた。でも今年、やっと形にすることができた。映画で大切なことは普遍性。単なるゴーストライター問題をテーマにしているつもりはもちろんない。誰が彼を造形したのか。誰が彼を写っているのか。自分は嘘をついたことはないのか。真実と虚偽は二分できるのか。そもそも森達也は信じるのか。。視点や解釈は無数にある。もちろん僕の視点と解釈は存在するけれど、最終的には観たあなたのもの。自由でよい。でもひとつだけ思っているのは、様々な視点と解釈があるからこそ、この世界は自由で豊かで素晴らしいのだ。

【速報1】「わたしの自由について」6月26日(日)礼拝プラザ2・5にて特別上映決定！

2015年夏、池上でも声も上げ続け国際音楽祭で埋め尽くした学生団「SEALDs(シールズ)」の後の激動の夏に密着したドキュメンタリー

【速報2】是枝祐和監督、観測は5か主演・桐畑ドキュメンタリー「いしぶみ」この夏公開
7月15日(金)豊後橋音楽集礼・先行上映決定

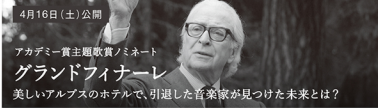


古くから地域社会に根差したカトリック教会は、秘密主義に閉ざされた巨大権力であり、定期購読者の半数以上をカトリック信者が占めるグループにもとってモンスター的な「聖域」だった。新任の編集局長の号令のもと、それまでの慣習を打破して困難な戦いに挑んだスポットライトチームとは、粘り強い調査を続けるうちに想像をはるかに超えた驚愕の事実を次々と掘り起こしていく。疑惑の神父の意が断ち上がり、教会による隠蔽の罪が露見になる過程を事細かに再現したシークエンスには息もきかぬスリルがみなぎり、見る者の目を釘付けにする。

また本作は生粋の「ジャーナリズム映画」でもある。虐待被害者の生々しい証言に心揺らばれずチームの誓いが、元少年たちの悲痛な叫びを世に知らしめようと、寸暇を惜しんで奔走するさまを力強く描く。

「間違っていることは間違っている」と懐疑しい。「正しいことは正しい」と表明できる社会であった。ただその一心で、立ちはだかる権力と対峙しながら記者魂を貫く彼らの姿は爽快であり、閉塞した現代を生きる私たちの希望でもある。

◎スポットライトが報じたこの調査報道は、2003年に栄えあるピューリッツァー賞を受賞。監督はトム・マッカーシー、出演者全員が主演、チームブルーに徹しきつづくに緊実に真実を描き出す感動作。



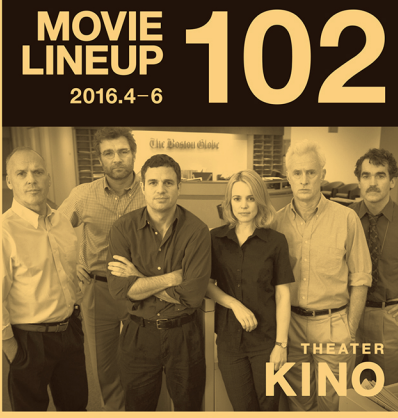
「あの曲はもう指揮しない」——女王陛下からの勅命の授与と出演依頼を即座に断るフレック。

本作の原作は、ある実話からインスパイアされて生まれた。著名なイタリア指揮者が、女王からオーケストラの指揮を依頼されたがレパートリーについて折り合いがつかず断った

というものでした。その時からパオロ・ソレントリーノ監督は引退した著名なオーケストラ指揮者であり作曲家の物語を思いつく。彼は音楽に未練はないと主張するものの、その存在をあらゆる場所で感じ続け、ほとんど無意識のうちに音楽を探し求める。「オーケストラ指揮者を映画に登場させた」という思いは以前から強かった。指揮者が紡ぎ出す、神秘的な音楽の世界に入り込んでみたかった」と監督。

さらに物語の根拠に流れずテーマとして「自分にはあとどれだけの時間が残されている」と考えた時、人は未来に何を望むのかというのを描きたかった。」「私たちは昔、年を重ねた人たちが、それでもまだ将来に立ち向かおうとするなんて考えもみない。だからこそ80歳を生きる人たちが、明日について期待することは何かということに非常に興味をひかれたんだ。」。そして私たちを大きな感動へと誘うのは……。

アカデミーにノミネートされた主題歌「シンブルラング#3」。BBC交響楽団、ヴィクトリア・ムーヴァのヴォイソリン、カラヤンから「愛の囁き」と称えられたスミス・ジョーが歌う壮大な感動のフィナーレへ、素晴らしい愛の物語。(映画品目別資料1部・1部抜粋)



今号のごあいさつ

桜の花が待ち遠しい季節になりますね。シアターキノは7月には24歳、今年はまだ子どもたちと出会うことができるでしょう。ワクワクします。24周年記念第1弾「ハッピーアワー」4月10日(日)1回限りの特別上映！朝焼けを眺めながらいつまでも映画の中の後女たちと一緒にいたい、そんな思いに駆られる新鮮な映画体験が待っています。ロカルノ映画祭では演技最優秀女優賞の受賞者が最優秀女優賞という快挙でした。

つづ4月15日(金)には注目作「スポットライト 世紀のスクープ」、16日(土)「グランドフィナーレ」が登場。映画の持っている力を存分に発揮した力作です。

女優役「シャロット」ランプリングが素晴らしい「きさなみ」。45年連れ添った夫婦の物語に観戦しつつ後きつパートナーやお父さんと話をするような、本質に迫ります。

そしてこちらは4人の娘たちの結婚相手がんばる外国人という「最高の花婿」。毎日賞文化バトルの大家族！おらかなユモアの中にも大胆なスバイクがビリビリと効いています。違いを笑っているのにつづいて理解しあっていく…あなたかいい気持ちを選んでくれます。違いを笑っているのにつづいて理解しあっていく…あなたかいい気持ちを選んでくれます。その他にも「センスがなくとも、幸せならいい」94歳の「アイリス」に勇気百倍！予測不能なラストに熱狂「マジカルガール」など…さぁキノの新学期が始まります。

支配人 中島ひろみ

2016年度キノ会員募集中！〈ベンチング委員会・スタンダード会員・シニア会員・学生会員〉ご利用期間:2016年4月1日～2017年3月31日 締め切り:5月31日(土) 詳しくは専用チラシを。

